

# 八重山諸島の考古学

## はじめに

南西諸島の最も南に位置する南島南部圏（宮古・八重山諸島）は、その地理的環境からも、沖縄本島以北とは異なる先史文化を持つと考えられています。そのため、一般的には、沖縄本島以北とは異なる考古学編年を利用します（図1）。詳しくは、『石垣市史考古ビジュアル版』「第1巻 研究史」をご確認ください（石垣市2007）。

また、考古学が扱う時代には、現代のように、「石垣市」「竹富町」「与那国町」と区切ることとはできません。そのため、石垣市内に限らず、八重山諸島全域の遺跡を対象として、紹介していくために、「石垣島の考古学」ではなく、「八重山諸島の考古学」としました。

編年		土器	石斧・貝斧	陶磁器・開元通寶	立地・石垣	主な遺跡	その他の編年表記
先史時代	旧石器時代 (参考) <sup>14</sup> C20416±113 <sup>14</sup> C18752±100 <sup>14</sup> C15751±421					白保芋根田原洞穴	
	下田原期 (参考) <sup>14</sup> C4250±50 <sup>14</sup> C3970±95 ↓ <sup>14</sup> C3290±90 <sup>14</sup> C3280±100	下田原式土器	石斧	無し	砂丘後背の高地	下田原 仲間第二 大田原 ビュウツタ	後期下半(多)、第二期(早・當)、ステージII(國)、中期(三)、新石器時代前期(安)、下田原貝塚文化(高)、第一期(大)
	(未発見の空白期)						
	無土器期 (参考) <sup>14</sup> C1770±85 <sup>14</sup> C1770±70 ↓ 12世紀前半	無し	貝斧 石斧	開元通寶 中国陶磁器(北宋末)が僅かに出土 徳之島産カムイ窯須恵器	砂丘	仲間第一 大泊浜 崎枝赤崎	後期下半(多)、第一期(早・當)、ステージI(國)、前期(三)、新石器時代後期(安)、仲間第一貝塚文化(高)、第二期(大)
歴史時代	新里村期 12世紀 ↓ 13世紀	新里村式土器 ピロースク式土器	石斧僅か	中国陶磁器(北宋末~南宋)が少量出土	丘陵上や平野 石垣無し	新里村東 ピロースク の2・3層	川平貝塚文化前期(高)、スク時代前期(大)
	中森期 13世紀末 ↓ 17世紀初	中森式土器	無し	中国陶磁器(元~明)が大量出土	丘陵上や平野 石垣が登場	鳩間中森 フルスト原 新里村西 花城村	晩期(多)、第三期(早・當)、ステージIII(國)、後期(三)、川平貝塚文化前期(高)、スク時代後期(大)
	バナリ期 17世紀 ↓ 19世紀	バナリ焼	無し	湧田・壺屋陶器や八重山陶器が出土	近世の廃村や 現村落	新城島	晩期(多・三)、第四期(早・當)、ステージIV(國)、川平貝塚文化(高)

石垣市史の編年（石垣市総務部市史編集課2007）を参考

図1 八重山諸島の考古学編年

## 1. 研究略史

少し難しくなりますが、八重山の考古学がどのように研究されてきたのかをご紹介します。はじめに、先島諸島の考古学的特徴を知るために、先史遺跡の調査を中心とした研究史から紹介しましょう。

先島諸島で初めての発掘調査は、1904（明治37）年まで遡ります。この年、石垣島の遺跡を発掘した鳥居龍蔵は、各調査遺跡の概要を報告しました。特に、「川平獅子森の遺跡」から出土した土器については、それまで国内で見つかったタイプとは異なり、台湾の石器時代の遺物に似ているとの見解を示しました。また、出土した土器の中で横耳がついた土器を「外耳土器」と呼び、一種独特なものとして扱いました（鳥居1905）。この鳥居の説は、物質文化に対する大きな誤解を含んでいたことが、現在までに明らかとなっています。しかしながら、早い段階で沖縄本島以北と異なる要素が指摘されたことは重要なことでした。

戦前から始まった八重山諸島の発掘調査は、明治政府の支配下に置かれる中で、「帝国の南門」

として位置づけられた運命のようなものでしたが、戦後になり、新たな一步を踏み出すことになりました。沖縄出身の多和田真淳により、数多くの遺跡が発見されたのです。彼は奄美・沖縄・先島の各諸島を踏査し、戦後の混乱期において100ヵ所を超える遺跡を発見・報告しました（多和田1956）。大浜フルスト原貝塚（国指定史跡フルスト原遺跡の一部）は、1949（昭和24）年に多和田が発見した遺跡です。

その後、金関丈夫を団長とする波照間島下田原貝塚の調査（金関ほか1964）、高宮廣衛らによる鳩間島鳩間中森貝塚の発掘調査（高宮ほか1959）などが実施されました。

そして、1959（昭和34）年。八重山考古学に大きな影響を与える調査が実施されました。早稲田大学八重山学術調査団による八重山各地の発掘調査です。滝口宏を団長とする調査団は、石垣島の山原貝塚、西表島仲間第一・第二貝塚、西表島平西貝塚、波照間島下田原貝塚を発掘し、黒島では踏査しながら表面採集を実施しています。その調査成果は、1960年に『沖縄八重山』という報告書でまとめられました（滝口編1960）。その本の中で提唱されたのが、八重山考古学に長期にわたり影響を与えた「早稲田編年」（後述）と呼ばれるものです。早稲田編年では、先史時代から歴史時代までを第Ⅰ期から第Ⅳ期に区分し、土器のない仲間第一貝塚を、土器のある仲間第二貝塚よりも古く位置づけています。

沖縄が本土復帰（1972年）を迎える頃になると、それに伴う大規模開発の波に押されるように、各地で発掘調査の必要性が出てきました。沖縄県教育委員会もそういったニーズに応えるため、遺跡分布調査を実施しています（沖縄県教育委員会1977）。

学術調査、行政による緊急発掘調査が進むにつれ、先島諸島の考古学は転機を迎えます。1978（昭和53）年に沖縄県教育委員会が実施した石垣島大田原遺跡と神田貝塚の調査（沖縄県教育委員会1980）は、それまで約20年もの間、八重山諸島の考古学編年として定着していた早稲田編年を揺るがしました。発掘調査により、下田原期の大田原遺跡のほうが、無土器期の神田貝塚の層よりも下にあることが確認されたのです。地質学でいうところの「地層墨重の法則」からすれば、有土器の文化に属する大田原遺跡のほうが古いとしか言えない状況だったのです。また、1983（昭和58）～85（昭和60）年に実施された、波照間島下田原貝塚（有土器）と大泊浜貝塚（無土器）の発掘調査においても、同様な堆積状況が確認され、早稲田編年が逆転することが確実となりました。

以上、八重山諸島を中心に紹介してきましたが、宮古諸島でも先史遺跡は確認されています。1983（昭和58）年に沖縄県教育委員会が調査した宮古島長間底遺跡では、宮古諸島で初めて無土器期の遺跡が確認されました（沖縄県教育委員会1984）。その後、1988（昭和63）年には城辺町教育委員会（現宮古島市教育委員会）が実施した浦底遺跡の調査で、数百という単位のシャコガイ製貝斧が出土し、宮古諸島における無土器遺跡の存在を再確認しています（城辺町教育委員会1990）。1992（平成4）年には、多良間島で下田原期の遺跡である多良間添道遺跡が発見され、多良間島まで同文化の広がりが確認されました（多良間村教育委員会1993, 1996）。

また、2010（平成22）年2月には石垣島白保竿根田原洞穴遺跡で約2万年前のものとされる人骨が発見され、大きな話題となりました（石垣市立八重山博物館2010、片桐2010、片桐ほか2012、各新聞報道による）。同遺跡の調査は、2013年現在、継続されています。

## <引用・参考文献一覧>

- 石垣市 2007「研究史—八重山考古学のあゆみ—」『石垣市史考古ビジュアル版』第1巻 石垣市
- 石垣市立八重山博物館 2010『偉大な旅—新人の拡散と八重山 白保竿根田原の人骨は何を語るか—』 石垣市立八重山博物館
- 沖縄県教育委員会 1977『沖縄県の遺跡分布』沖縄県文化財調査報告書第10集 沖縄県教育委員会
- 沖縄県教育委員会 1980『石垣島県道改良工事に伴う発掘調査報告—大田原遺跡・神田貝塚・ヤマバレー遺跡 附編平地原遺跡表面採集遺物—』沖縄県文化財調査報告書第30集 沖縄県教育委員会
- 片桐千亜紀 2010「白保竿根田原洞穴調査の概要（白保竿根田原洞穴発掘調査速報2010）」『白保竿根田原洞穴を学ぶ会』 白保竿根田原洞穴を学ぶ会実行委員会
- 片桐千亜紀・山崎真治・藤田祐樹 2012「白保竿根田原洞穴遺跡の発掘調査概要」『石垣市立八重山博物館紀要』第21号 石垣市立八重山博物館
- 金関丈夫・國分直一・多和田真淳・永井昌文 1964「琉球波照間島下田原貝塚の発掘調査」『水産大学校研究報告』人文科学篇9号 水産大学校
- 城辺町教育委員会 1990『THE URASOKO SITE（浦底遺跡発掘調査写真集）』 城辺町教育委員会
- 高宮廣衛・Clement W・Meighan 1959「八重山鳩間島中森貝塚発掘調査概報」『文化財要覧 1959年版』 琉球政府
- 滝口宏編 1960『沖縄八重山』早稲田大学考古学研究室報告第七冊 校倉書房
- 多良間村教育委員会 1993「第5章発掘調査 第1節多良間添道遺跡」『多良間村の遺跡』多良間村文化財調査報告書第10集 多良間村教育委員会
- 多良間村教区委員会 1996『多良間添道遺跡』多良間村文化財調査報告書第11集 多良間村教育委員会
- 多和田真淳 1956「琉球列島の貝塚分布と編年の概念」『文化財要覧 1956年版』 琉球政府文化財保護委員会
- 鳥居龍蔵 1905 「八重山の石器時代の住民に就て」『太陽』第11巻第5号 東京博文堂